



新型コロナウイルス感染拡大防止の為、様々な活動に制限が出ています。これにより、現場は不安や悩みを抱えますが、同時に新たな創意工夫が生まれています。「つながる通信」では、そうしたコロナに負けない地域の繋がりやパワーを発信し、各地でお役立ていただく一助となればと願っております。

取材先

藪塚地区 大原5区グラウンドゴルフ愛好会

大原5区グラウンドゴルフ愛好会は、20年以上前から活動しています。開催日は週2回、火曜日と土曜日の13:30～です。

会員さんたちの活気があり、笑い声やホールインワンの「おめでとう」という掛け声、冗談を言い合ったり、おしゃべりをしたりと様々な声がふれあいの広場に響いていました。地域の高齢者が笑顔で元気に過ごしていることが地域が元気になることにつながっています。

また、グラウンドゴルフで、いつも来ている人の顔が見えないと、「〇〇さんはどうしたんだい?」「ああ、今日は休むって言っていたよ。」と、自然に安否確認が行われていたり、目の調子が悪く通院している会員さんに、「目の調子はどう?」と会員同士で体調を気づかう様子もありました。

感染対策をして10月には、大原5区のグラウンドゴルフの大会を開催することができました。コロナ禍でも大会を企画することで会員さんの士気があがり、練習への参加が増え、外出する機会が増えることにもつながっていたようです。



グラウンドゴルフの様子です。この日は13名の参加者がいました!

裏面へ続きます→

地域のお宝発見♡～太田市生活支援体制整備事業～

「グラウンドゴルフができるのはみんなのおかげ！」



みともとくじ

見供徳二さん 78才

大原5区グラウンドゴルフ愛好会の会長兼ふれあいの広場の管理責任者をされています。

見供さんは、「自分一人じゃなにもできない。みなさんが協力してくれるからふれあいの広場を管理することができています。」と語ります。見供さん自身もふれあいの広場の整備として、グラウンドの水撒き、ローラー掛け、芝生の草むしりなど率先して行っています。



「大原5区はグラウンドゴルフの他にも春と秋の収穫祭など行事がたくさんある。行事がたくさんある事で人との交流が生まれて、それが地域のことをお手伝いしてくれるきっかけになることもあるからとても大事。」

「金井さんは一番元気！」



かないひかる

金井熙さん 85才

グラウンドゴルフ愛好会の最高齢者。走ってボールを追いかけるくらい元気！そば打ちの先生で行政センターや公民館で教えています。お料理が得意で、3食のごはんの支度をされており、分からないことがあるとスマートフォンで検索をして調べています。



「自分たちの居場所だから、自分たちできれいにしないとね！」

すずきとしお

鈴木敏夫さん 76才

ふれあいの広場に植えてある木の剪定など、ふれあいの広場の管理のお手伝いをされています。

「元気すぎて困っちゃう！」というくらい元気いっぱいです。

チェックポイント

- 地域の高齢者が元気であることが地域の元気につながる！
- コロナ禍でも感染対策をとりながら人と会って話をしたり体を動かすことで、気持ちが前向きになれる。
- グラウンドゴルフ以外でも広場の管理や趣味に没頭することで元気でいられる。



地区の畑では、そばの花が見ごろを迎えていました！

お宝情報を募集中！「私の近所でこんな取り組みをしている」「こんな工夫をして気にかけている」など、あなたの地域のつながりを教えてください。情報をお持ちの方は下記お問合せまで！



詳しくはこちら

お問い合わせ

太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 群馬県太田市飯塚町1549
TEL 0276-30-0033 FAX 0276-30-0032